

保健師増員 感染症対応以外も 衆院議員もとむら伸子レポート

国の来年度予算案で、保健所の感染症対応の保健師と共に、

それ以外の保健師も増員することが明らかに！

現場の声、自治労連の皆様の

実態調査などでも増員が必要

なことははっきりしてしま

したし、日本共産党国會議員も

私も質問で求めてきました。

地方交付税の積算の内容で

すから、地方自治体が増やすと

言わないと自動的に増えま

せん。

国が地方交付税の積算の内

容を増やしたのだから、うちの

自治体でも保健師を正規で増

やすよう強く求めていただき

ますよう、何卒よろしくお願

い

いたします！（HP7日付）

来年度の地方交付税

保健師増員

感染症対応以外も

本村議員に総務省回答

総務省はこのほど、来年度の

地方交付税の積算内容で、保健

所の保健師について感染症対

応以外も増やすことを明らか

にしました。日本共産党の本村

伸子衆院議員に答えたもので

す。

今年度の地方交付税の積算

内容では、170万人の標準団

体（都道府県）の保健所保健師

は、88人で算定されていま

す。総務省は来年度地方財政措

置で感染症対応の保健師の増

員を公表していますが、新型コ

ロナウイルス禍でおこなった

保健師の配置実態調査をふま

えて感染症以外の人員の部分

も見直すとなりました。来年度、

標準団体で102人（感染症対
応保健師6人増、その他の保健
師8人増）で算定することにな
ります。

現場の声や自治労連の職場

実態調査など、保健師の増員が

不可欠であることが示されて

きました。また、日本共産党国

會議員団は「抜本的に増員でき

る地方財政措置を」と求めてき

ました。（しんぶん赤旗7日付）

県保健所は極限状態

愛知県当局は具体的な対処を

愛知県の保健所は、26保健

所2支所1分室（94年）でし

たが、愛知県の第3次行政「改

革」や地域保健法全面施行（9

7年）で少なくなりました。ま

で、豊田・豊橋・岡崎の3市が

中核市へ移行で保健所を設置

したため、12保健所9保健分

室（08年）となり現在に至っ

ています。県保健所の保健師も

223人（94年）↓124人

（14年）と大幅に削減されて

います。そんな中でも県保健所

の職員はこの間、文字通り日夜

を分かつた休日も返上して必

死の思いで新型コロナウイルス

フルエンザに対峙し、県民の命

と暮らしを守るため頑張っ

ています。（党県委員会2日付）

平井こども園前の道路計画 横断歩道も無く 交通事故が心配

こども園を考える会が申し入れ

市立平井こども園（百々町）

の園庭前の市道の幅を広げる

計画があり、地域から「通過車

が増えて、危ない」との声が上

がっています。

豊田市のこども園を考える

会は2月10日、「平井こども

園前の道路拡張・整備と交通安

全問題について」として、市長

あての申し入れ書を保育課長

に渡し、懇談を行いました。

この事業については一昨年

12月、30人程で地元説明会

が開催され、様々な疑問や賛成

できないとの意見が出されて

いたにもかかわらず、測量が進

んでいます。



根本みはる市会議員（中央）も同席

市が提示した道路拡張・整備計画（A案）に対し、12年前に地元自治体から、こども園前を回避する計画（B案）が提示されていました。数年が経過して、保護者の駐車場が狭いため、道路を挟んで、こども園の前に駐車場が造営されましたが、横断歩道さえなく、いつ交通事故が起きてもおかしくない状況です。地元住民の皆さんが、従来の細く曲がりくねった道路を通る通過車が増えていることから、「安全な道路を造ってほしい」と強く要望されることは、交通事故防止から当然です。

こどもたちの交通事故が大変心配され、地域住民への影響も計り知れないことから、「①道路整備計画の経緯を検証し、住民・園関係者・市民の意見を十分聴いて、計画を見直すこと②こども園のこどもたちを始め、住民の交通安全を第一にして、保育課、土木課、交通安全防犯課などが連携して、交通事故防止対策を講じること」を要望しました。

山ノ手公園の東屋 ブロック露出に整地を要望



前

日本共産党の拳母南支部に1月下旬、市内の山ノ手公園にある東屋のベンチは足元の地面が減っていてブロックが出ていて危ない（上写真）、との情報が寄せられました。

拳母南支部の人たちが現地を確認して写真を撮って2月上旬、豊田市の公園緑地つかう課に整地を要望しました。対応した職員さんは説明を聞いて了承され、整地をする方向で回

答。

私も現地を確認しようと2月上旬に行ったら、すでに整地が済んでいて、足元のブロックが見えなくなっていました（下写真）。市の早い対応に感謝をいたします。

引き続き地域の要望を実現できるよう取り組んでいくので、お気づきの点があったら左下にある生活相談を利用してください。（本多のぶひろ）



後

来年度の国保税は年額2400円増か 豊田市国保運営協議会で採決

2月7日に豊田市内で、第29回国保問題学習交流会が開かれ、13人が参加しました（左写真）。主催は豊田市国保制度の改善を求める連絡会。同会の関口哲男事務局長は、豊田市の国民健康保険運営協議会の委員（被保険者代表）も務めています。以下は関口さんに寄稿していただきました。

最初に連絡会の会長あいさつがあり、続いて事務局長から、昨年11月の第2回豊田市国民健康保険運営協議会について、以下のような報告が行われました。

「来年度の国保会計は11億4千万円が不足する見通しで、その不足分をまかなう二通りの案が、国保年金課から提案された。一つは国保税を一人平均年額2400円引き上げる案、もう一つはコロナ禍の影響を考えて据え置きとする案。

提案を受けて、引き上げは仕方ないができるだけ少しずつ上げてほしい、との意見が多く出た。採決が行われ、13人のうち12人が引き上げ案に賛成、1人が据え置き案に賛成。多数決で引き上げ案に決まった。12月に市長に答申され、この後3月市議会で検討される。」

この後の意見交換では、参加者からたくさん発言がありました。

国民健康保険制度は、4年前に、その運営が市町村から都道府県に移されました。今は7年後の国保税（料）率県内統一を目指して動いています。豊田市では国保税の大幅な引き上げが求められており、そこへ市民の声を反映させようと私たちは取り組んでいます。

3月市議会が始まります

今議会も、新型コロナ対策を行いながらの開催となります。

- ◆19日（金）：開会
- ◆22日（月）：代表質問
24日（水）：26日（金）
：一般質問
- ◆3月1・2・8日
：予算決算委員会
- ◆9日（火）：15日（月）
：常任委員会・予算
決算分科会
- ◆17日（水）
：予算決算委員会
- ◆18日（木）：採決・閉会



本多のぶひろ衆院選
愛知11区予定候補



根本みはる
豊田市議会議員

◆第1土曜日 午前10時～12時
◆法律相談は弁護士
◆生活相談は随時、根本議員が対応します。
◆要予約。お申し込みは根本議員か
日本共産党西三地区委員会まで
Tel.0564-11311・2785



もとむら伸子
衆議院議員

無料 法律・生活相談
おこなっています